



並木中等story

令和3年10月29日号

批判する人がいるのは・・・

“私のすることに文句を言わないで”このような思いをした人はたくさんいると思います。また、自分とすれば、“批判などは受けない完璧な取組だ”と思っていたのに批判を受けてしまったという経験のある人もいるかもしれません。このこと、脳科学者の先生の見方からすると“あり得ること”なのです。なぜか、**すべてのことに表と裏がある**とすれば、**良い面があれば必ず、良くない面もあります。良い面を見ると素晴らしいと思うことも、良くない面に視点を当てたら良くないことになります。**そのように考えると、批判する人がいるのは、(リーダーから見ると)仕方のないことととらえた方がよい



でしょう。全ての人に受け入れられることは難しいことかもしれません。

では、どうしたら良いか。自分が正しいと思うことを進めるしかないのです。反対意見にも耳を傾けながら、“これで行く”と腹を決めたら実行だと思います。結果が良いか悪いかは何年か経たないと分からないものが多いです。それならば、批判にくよくよせず、進むべきではないでしょうか。

スポーツデイのリレー

《祝！日本学生科学賞県審査で受賞》

日本学生科学賞県審査が行われ、本校4年の小栗さんの作品「エンドウの枝分かれのメカニズムを探る」が県議会議長賞を、同じく大久保さんの作品「ニホンヤモリの体色変化」が県教育長賞を受賞しました。おめでとうございます。

